

お手入れする

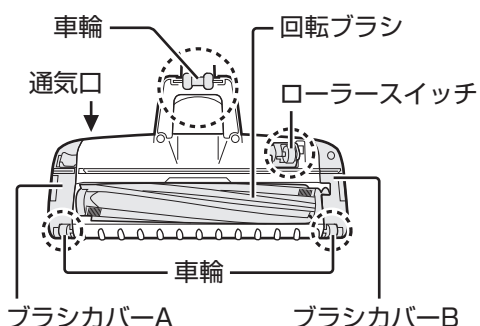
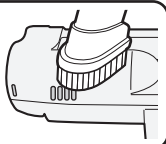
吸込口(回転ブラシ)

お手入れの目安：吸引力が弱くなったり汚れが気になるとき(月1回程度)

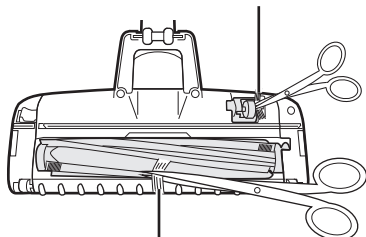
ゴミを取り除く

吸込口に付いたほこりをスグトルブラシで吸い取り、部にからみ付いた毛・糸くずを切り取ってから、絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも、スグトルブラシで吸い取ってください。



細かい部分についたゴミは先の細いハサミやピンセットなどで取り除く。



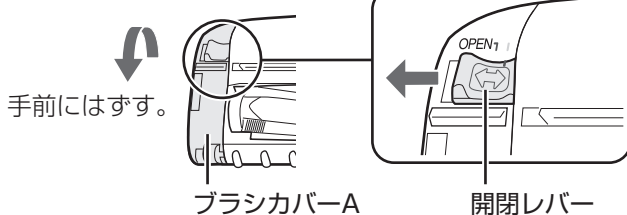
回転ブラシの溝に沿って切り取る。
(ブラシの毛先を切らない)

部が摩耗した場合は使用を中止し、お買いあげの販売店にご相談ください。

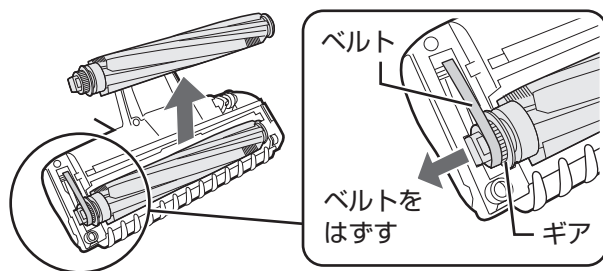
回転ブラシを水洗いする

回転ブラシをはずす

- ① 開閉レバーを「OPEN」までスライドさせ
ブラシカバーAをはずす



- ② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアから
はずして、回転ブラシをはずす



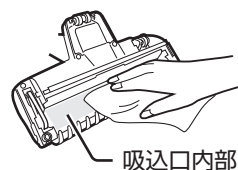
- ③ 回転ブラシを水洗いし、十分に乾かす

お願い

- 洗剤・シンナー・ベンジン類や、お湯(約40℃以上)は使わないでください。変質や変形の原因になります。
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、十分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因になります。

吸込口全体は水洗いできません。

吸込口内部の汚れが気になるときは、水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。



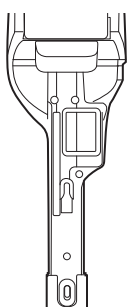
本体・付属吸込口・充電部の接点(端子)

お手入れの目安：汚れが気になるとき

本体

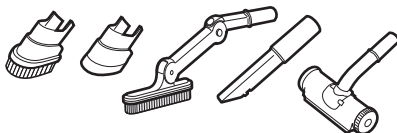
水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取る。
シンナー・ベンジン類は使わないでください。

【変質や変形の原因】



付属吸込口

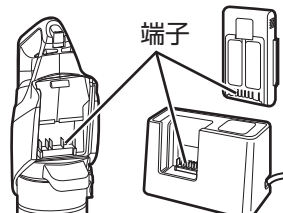
水または薄めた中性洗剤で洗う。



水洗いした後は十分に乾かしてください。

充電部の接点(端子)

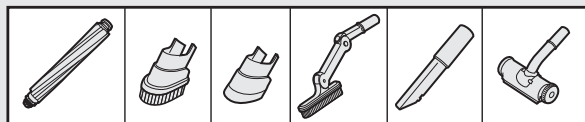
乾いた布で汚れを拭き取る。



ご注意

- 本体・充電器・バッテリーは水洗いできません。

水洗いできるもの



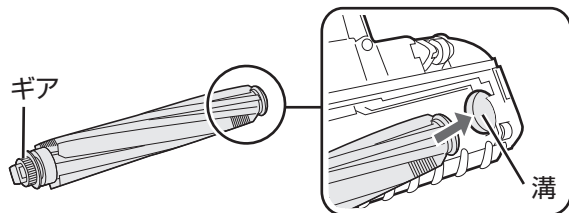
警告



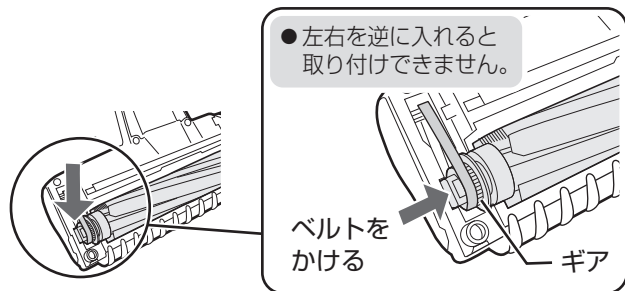
お手入れ時は必ず運転を停止し、
本体からバッテリーをはずす
充電器は電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

回転ブラシを取り付ける

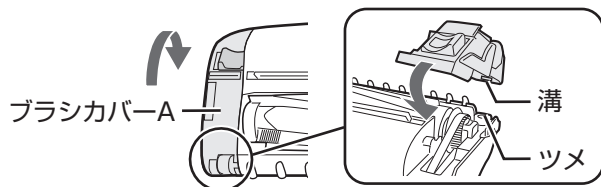
- ① 回転ブラシのギアがない方を溝の奥まで入れる



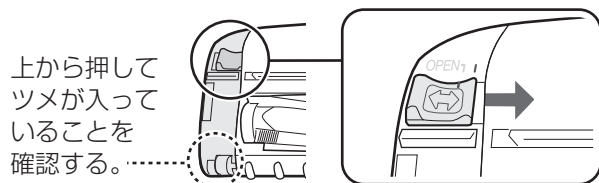
- ② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる



- ③ ブラシカバーAの溝をツメにかけて取り付ける



- ④ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

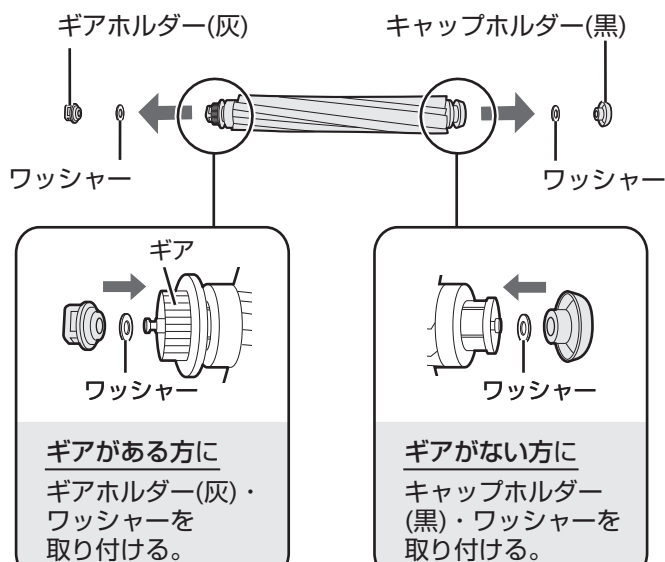


回転ブラシに毛髪などがからみ付いたときは

回転ブラシ両端のギアホルダー(灰)・キャップホルダー(黒)・ワッシャーをはずして※、取り除いてください。

※平行にまっすぐはずしてください。

ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを紛失しないよう、ご注意ください



お願い

- お手入れ後は必ず、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを正しく取り付けているか確認してください。

グリップセンサー お手入れの目安：1ヵ月に1回以上

- お掃除中にグリップセンサー部から手を離しても運転を中断しなかったり、センサー部をにぎっても運転を再開しないときは、お手入れしてください。

市販の綿棒などで、グリップセンサー部表面(黒)の汚れをやさしく拭き取る。

ご注意

- 水洗い・水拭きはできません。

